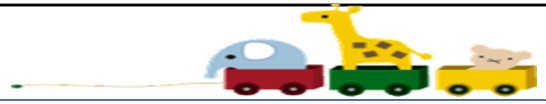
熱性けいれんで入院されたお子様のご家族の方へ　　患者様用

（　　）様　　主治医（　　Dr）　　受け持ち看護師（　　Ns）

経過	入院1日目	入院２日目	入院３日目(退院日)
月日	／	／	／
目標	□けいれんが起きない →	→	→ □発熱しなくなる □機嫌が良く、食事量・活動量が増える
治療	□入院時より点滴をします → □状態に応じてモニターを装着します。 → □お子様のベッドサイドにストップウォッチを置いています。けいれんが起きた場合は、ナースコールで知らせ、ストップウォッチのスイッチを押して下さい。 →	→ 	→ □退院が決定したら点滴を抜きます □問題がなければモニターが外れます
薬剤	□状態に応じてけいれん止めの座薬を使用することがあります → □お薬は症状に合わせて医師が処方します。内服が開始になったら薬剤師より薬の説明があります。 →	→	→
食事	□年齢に応じた食事を提供しますが、食べられるものを召し上がってください → □食欲がない場合はお子様が好む消化の良いものを食べても良いです。 →	→ →	→
清潔	□点滴中は着替えをする際にはお手伝いしますので看護師を呼んでください □点滴中はおしっこの量が増えます	□からだを拭きます → □オムツをしている場合は1日1回石鹸で洗浄します →	→

○熱性けいれんとは、発熱に伴って起きるけいれんのことです。



けいれんは、体を硬くし手足がガタガタ震えるものです。目が上向きになって白目を向き、顔色が真っ青になったりします。